

成果と課題・変容について

1 高校魅力化評価による3年間の変容

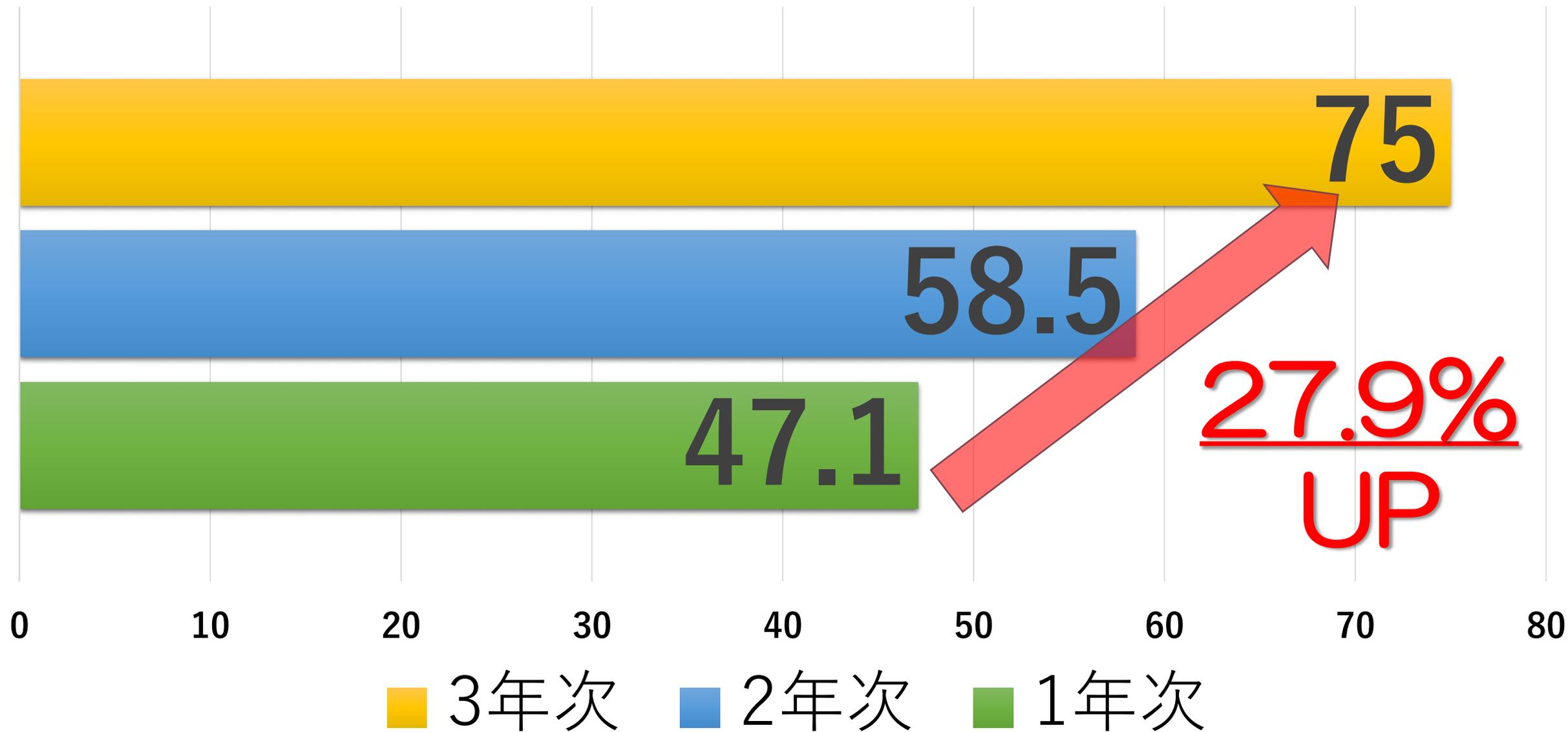
(三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる外部委託調査結果)

2 Rubricルーブリック評価 (自己評価と教員による評価)

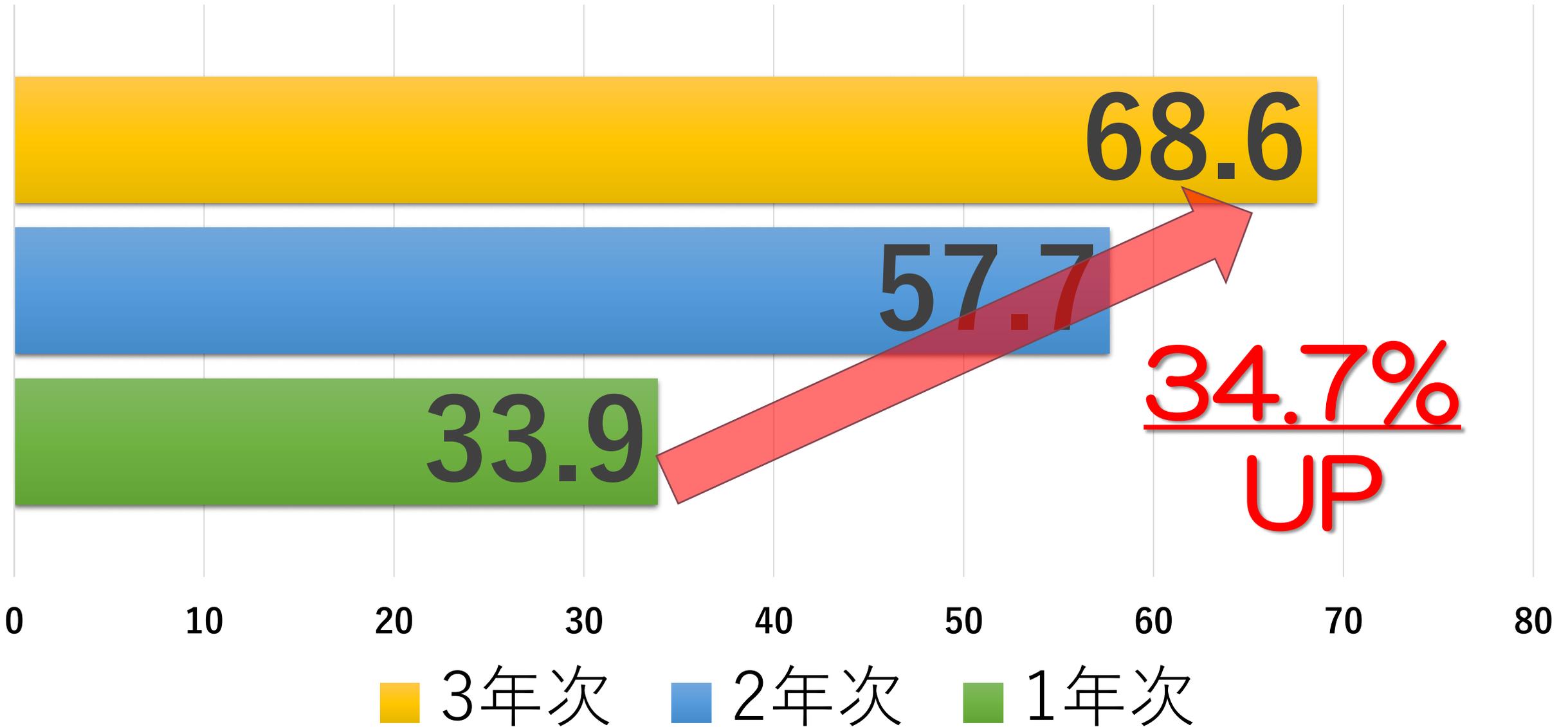
3 金農総幸福量GKH (Gross Kanano Happiness)

(学校で作成したオリジナルの幸福度・豊かさ指標による調査結果)

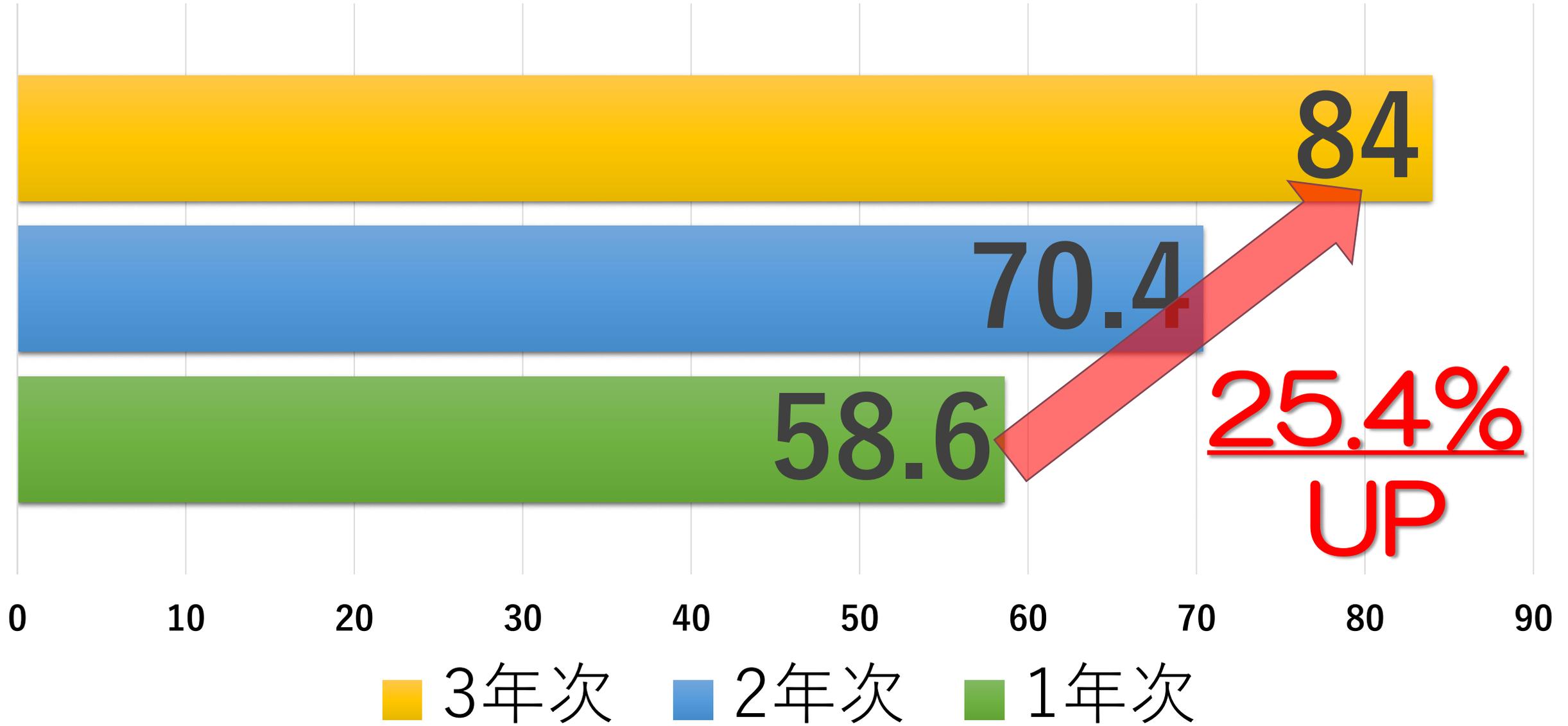
地域を対象とした課題探求学習への取組



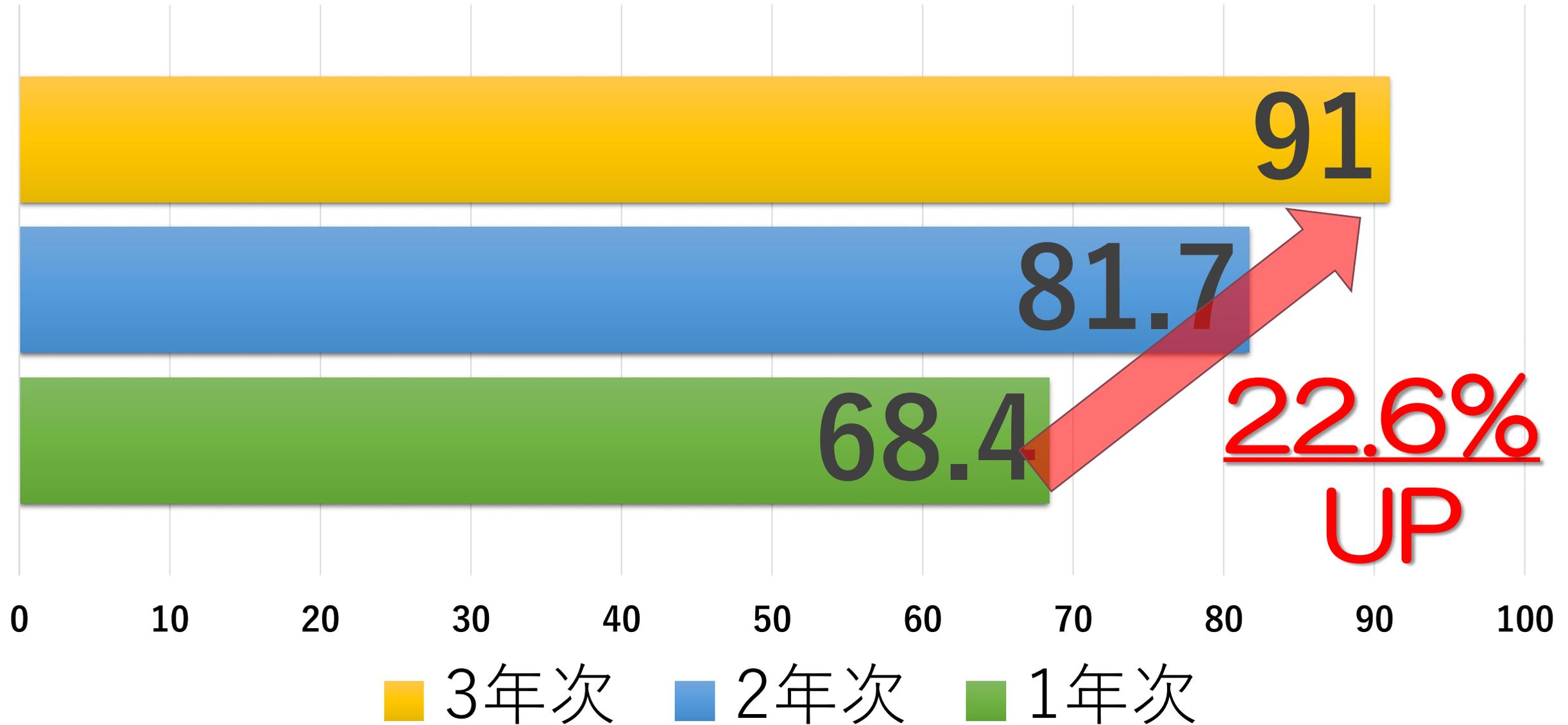
地域の担い手として政策決定に関わりたい



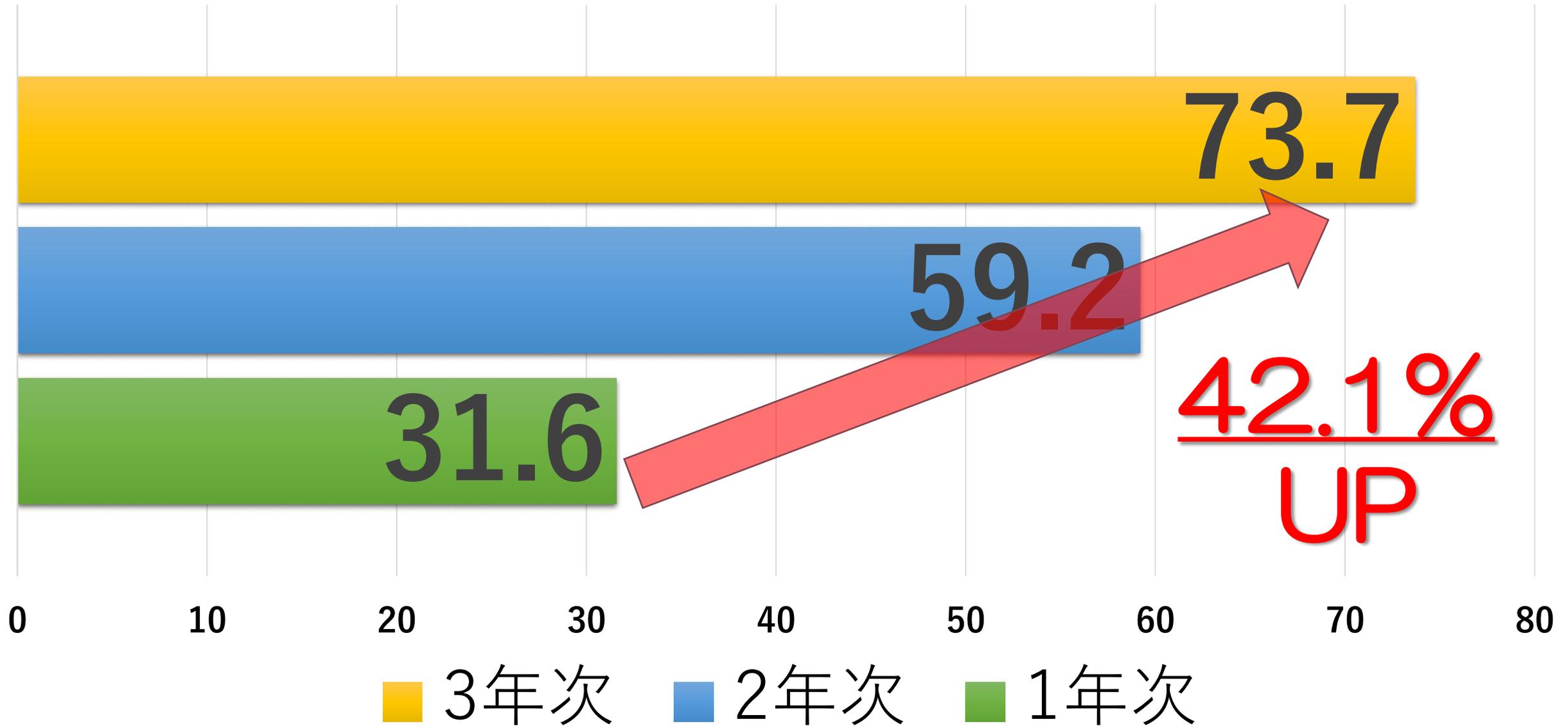
地域を良くするため、地域問題に関わりたい



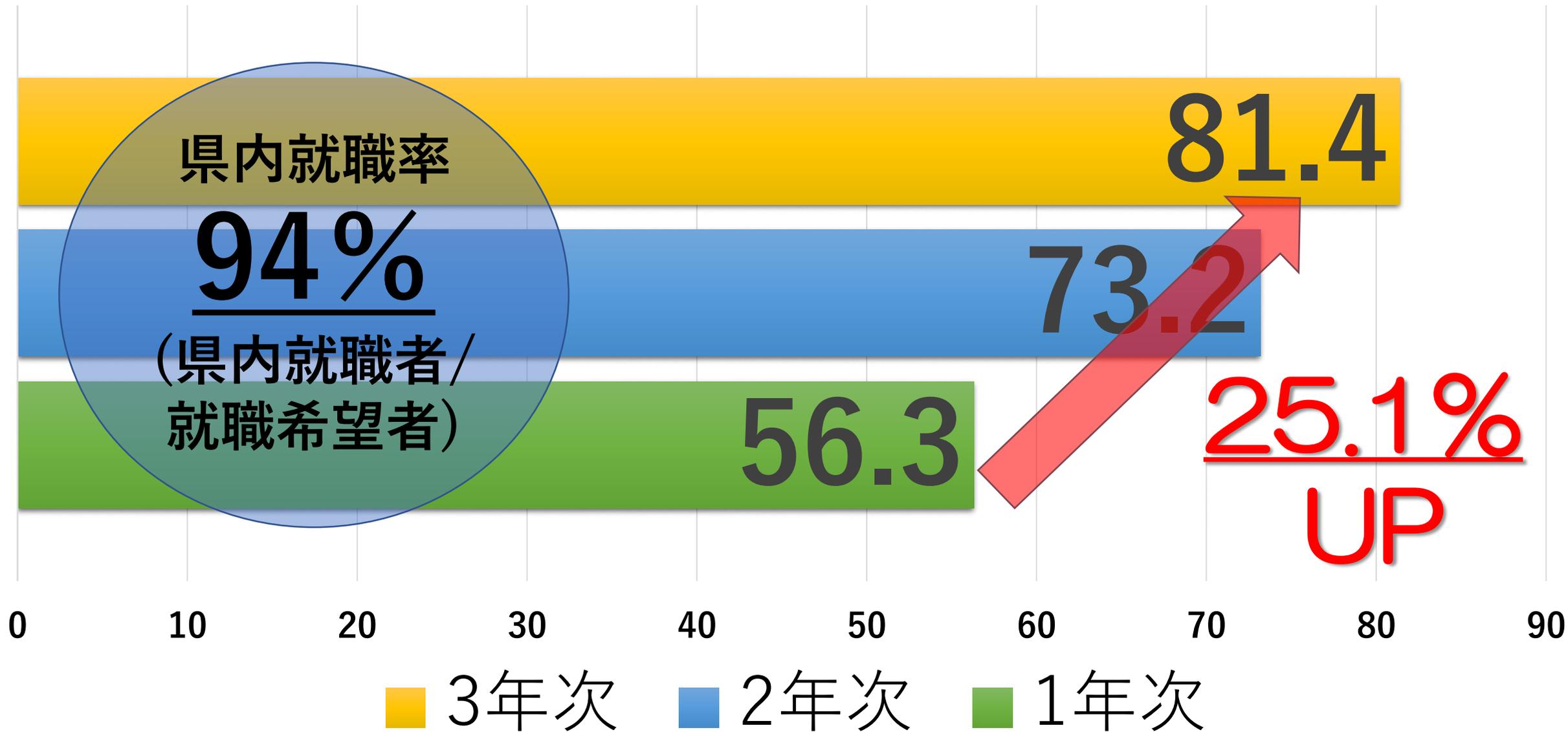
将来、自分の住んでいる地域に役立ちたい



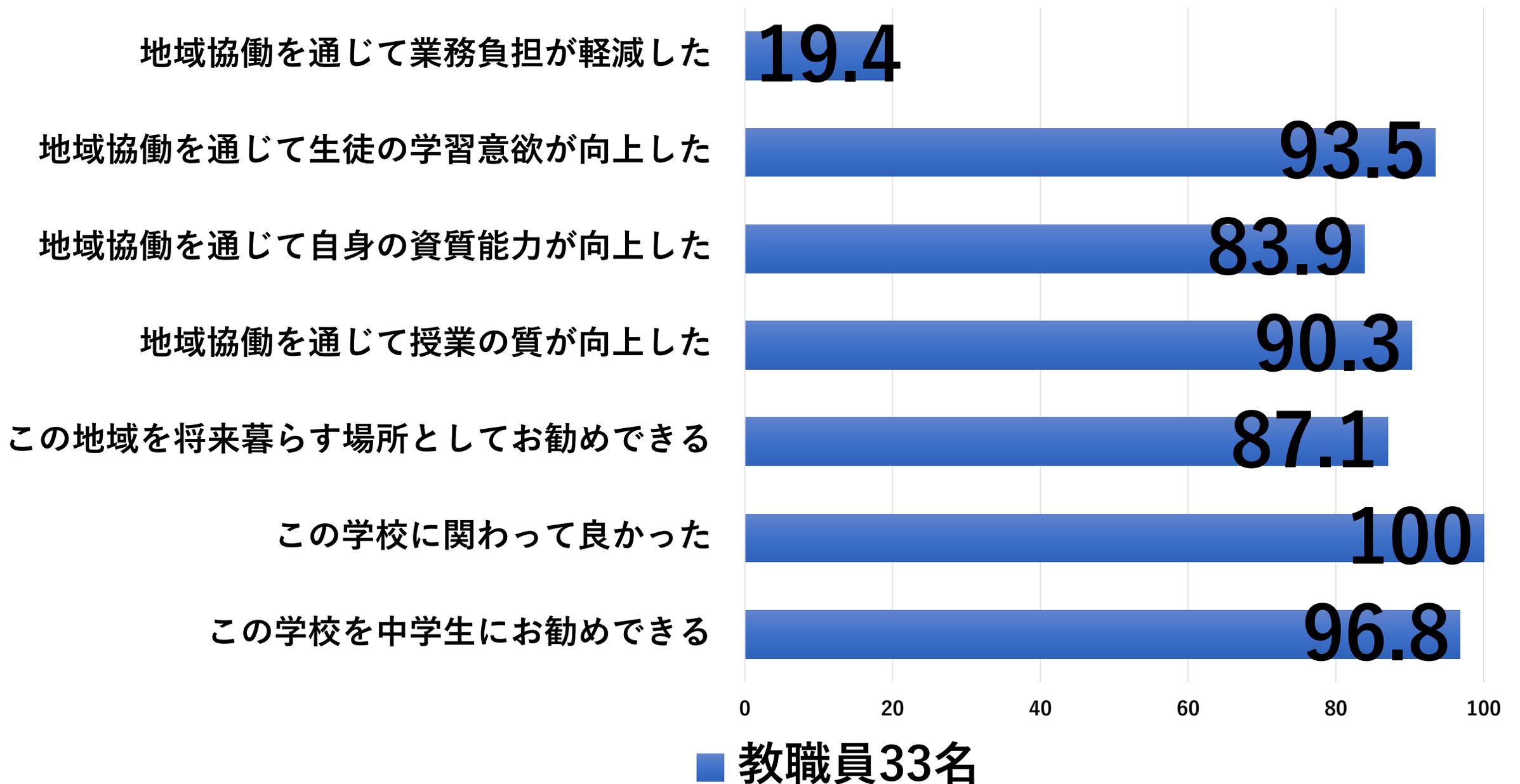
私に関わることで社会を変えられるかも？



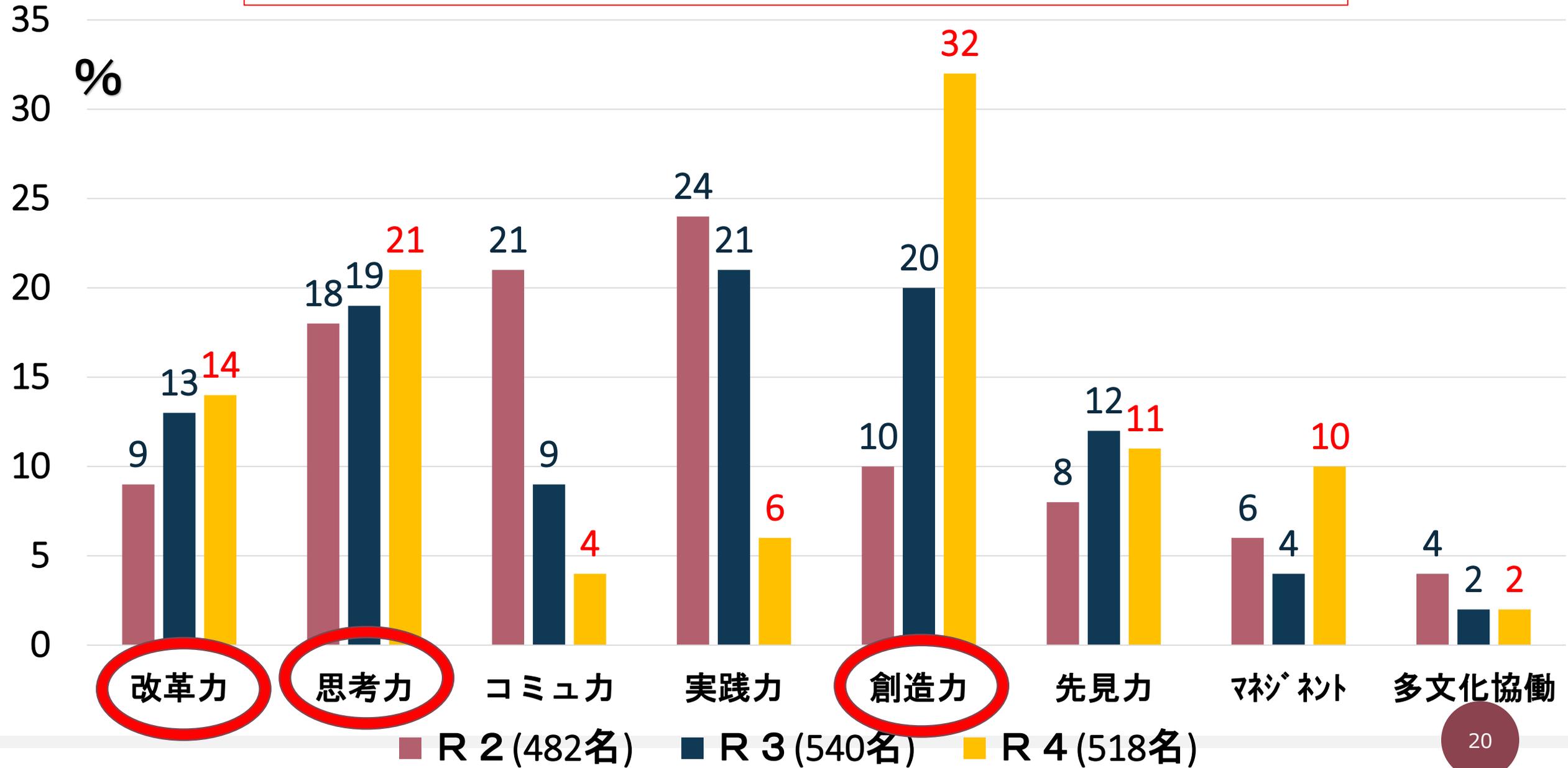
将来、自分の住んでいる地域で働きたい



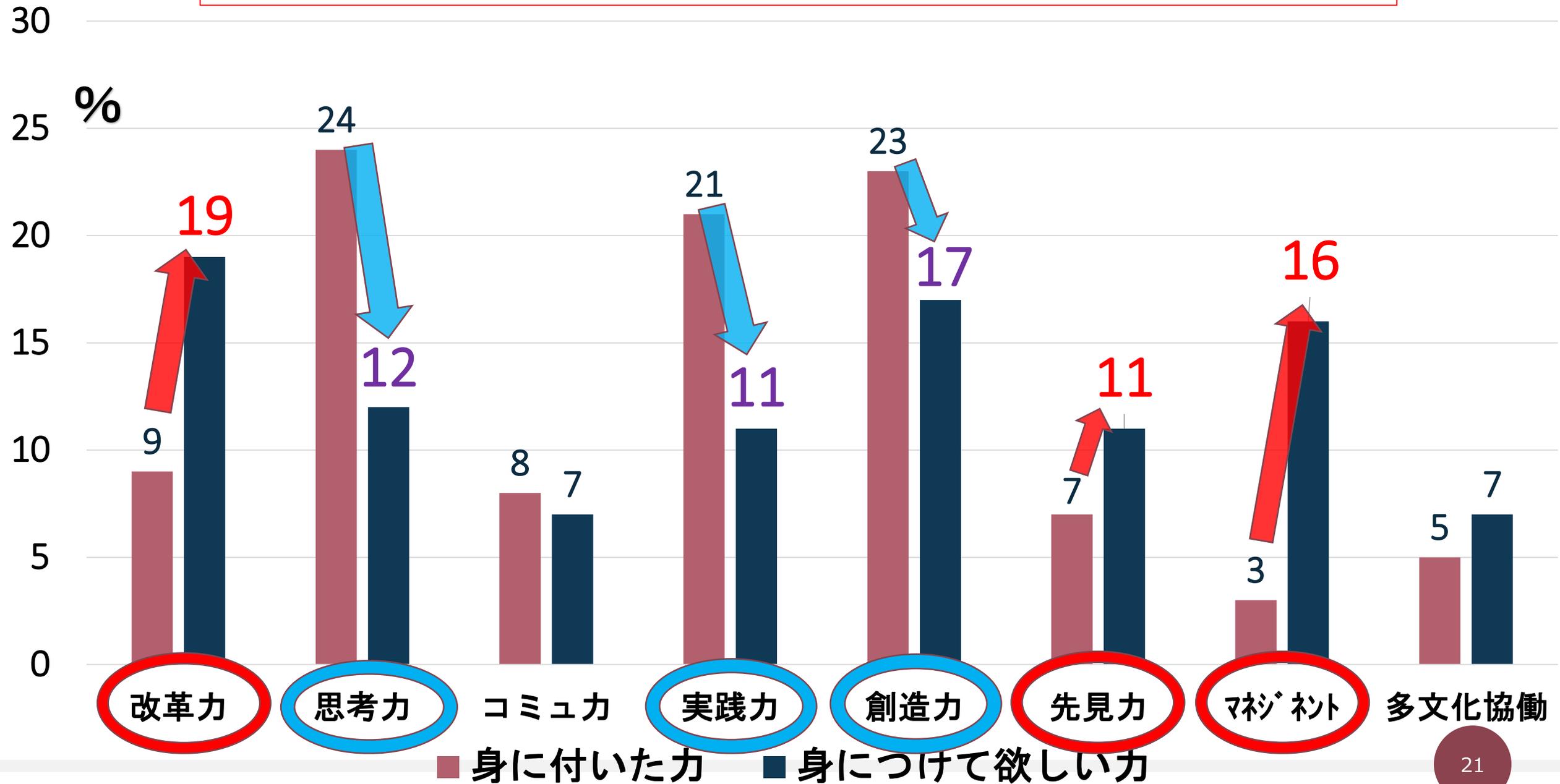
教職員によるアンケート調査（回答者33名）



Rubricによる自己評価「最も身に付いたと思われる力」の変遷



教員による評価「身に付いた力」と「身につけて欲しい力」の比較



金農総幸福量評価指標 GKH (Gross Kanano Happiness)



質問例

○地域・産業・文化

・地域は、地域外から人が訪れたいくなる「魅力のあるまち」だと感じていますか？

・地域の新たな魅力を再発見し、地域（秋田県内）に定住したいと思っていますか？

○心理的な幸福

・友人や家族など、他者の幸せや喜びを、自分の幸せや喜びとして感じていますか？

等々の50の質問事項から構成

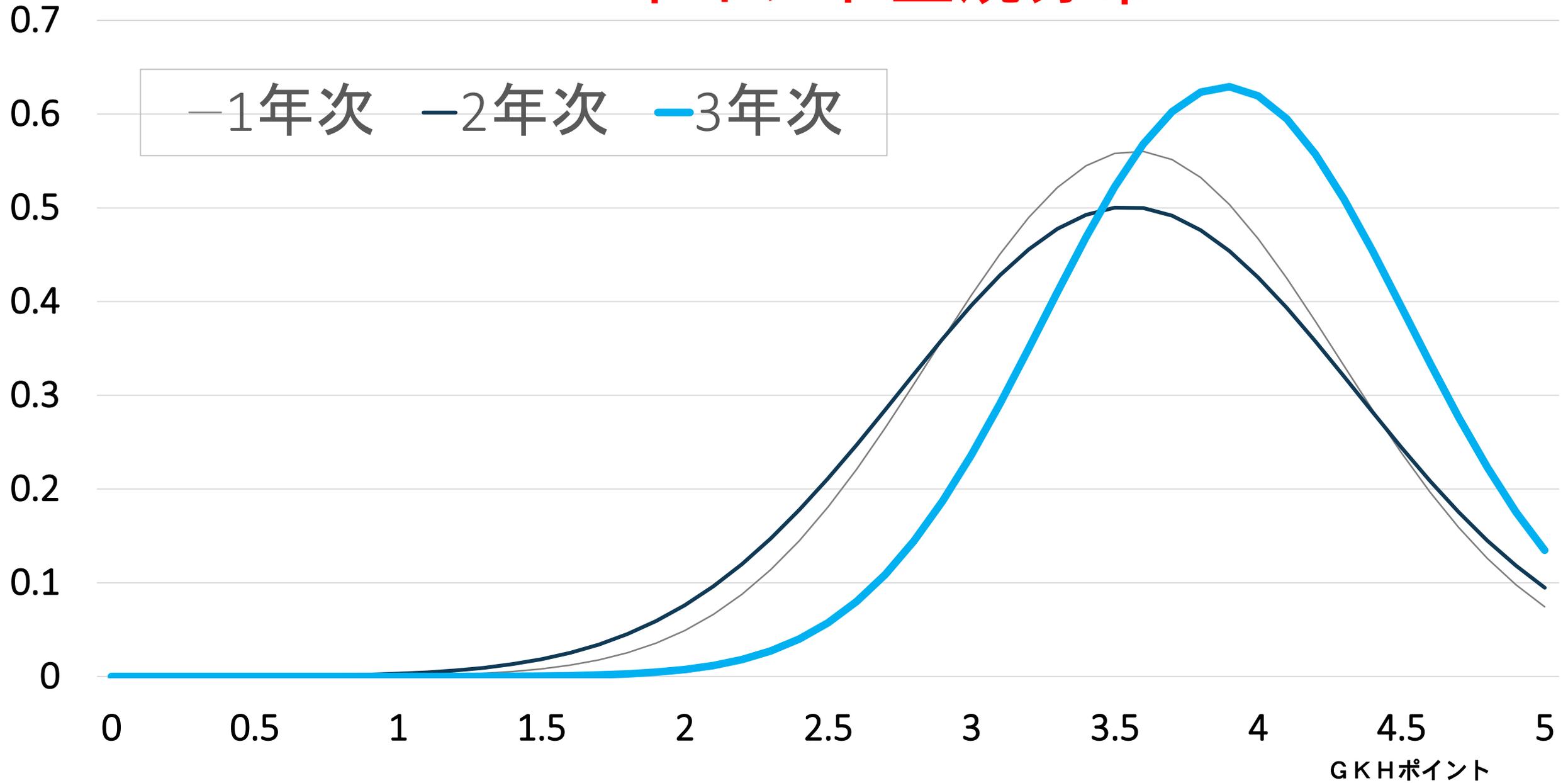
[GKH評価の尺度]

感じる5p(A)・ やや感じる3p(B)・ あまり感じない1p(C)・ 感じない0p(D)

50の質問の平均値3.5p以上で幸福感ありと仮定

2年生 全学科	生物 資源科	環境 土木科	食品 流通科	造園 緑地科	生活 科学科	全学科 平均
1年Average	3.56	3.88	3.46	3.41	3.54	3.57
2年Average	3.62	3.88	3.28	3.55	3.48	3.56
3年Average	3.94	4.29	3.70	3.70	3.80	3.88
増減	+0.38	+0.41	+0.24	+0.29	+0.26	+0.31

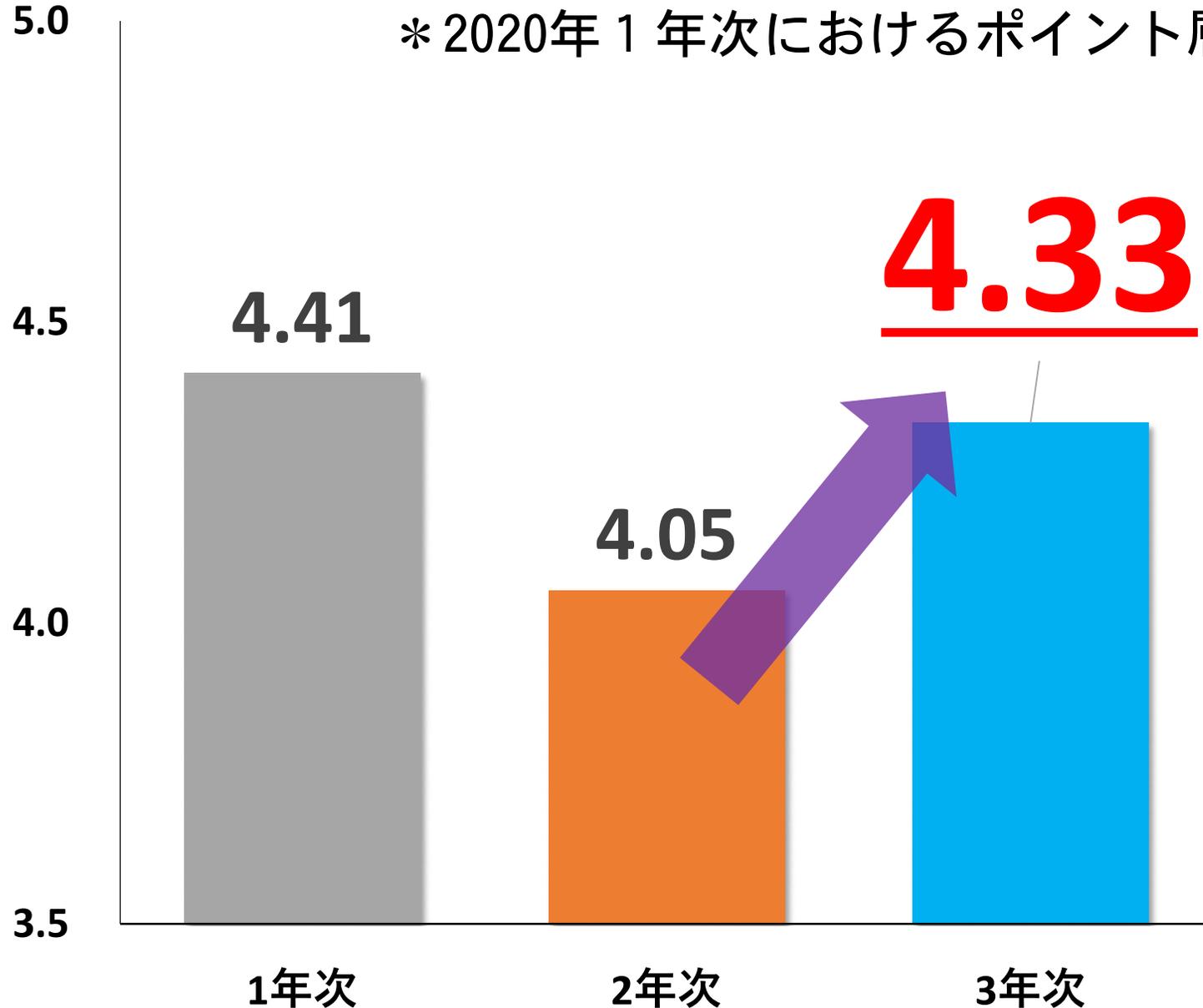
GKHポイント正規分布



G K H 平均

G K Hが4～5ポイントの生徒の推移

* 2020年1年次におけるポイント層との比較値



最終学年の集大成
昨年比

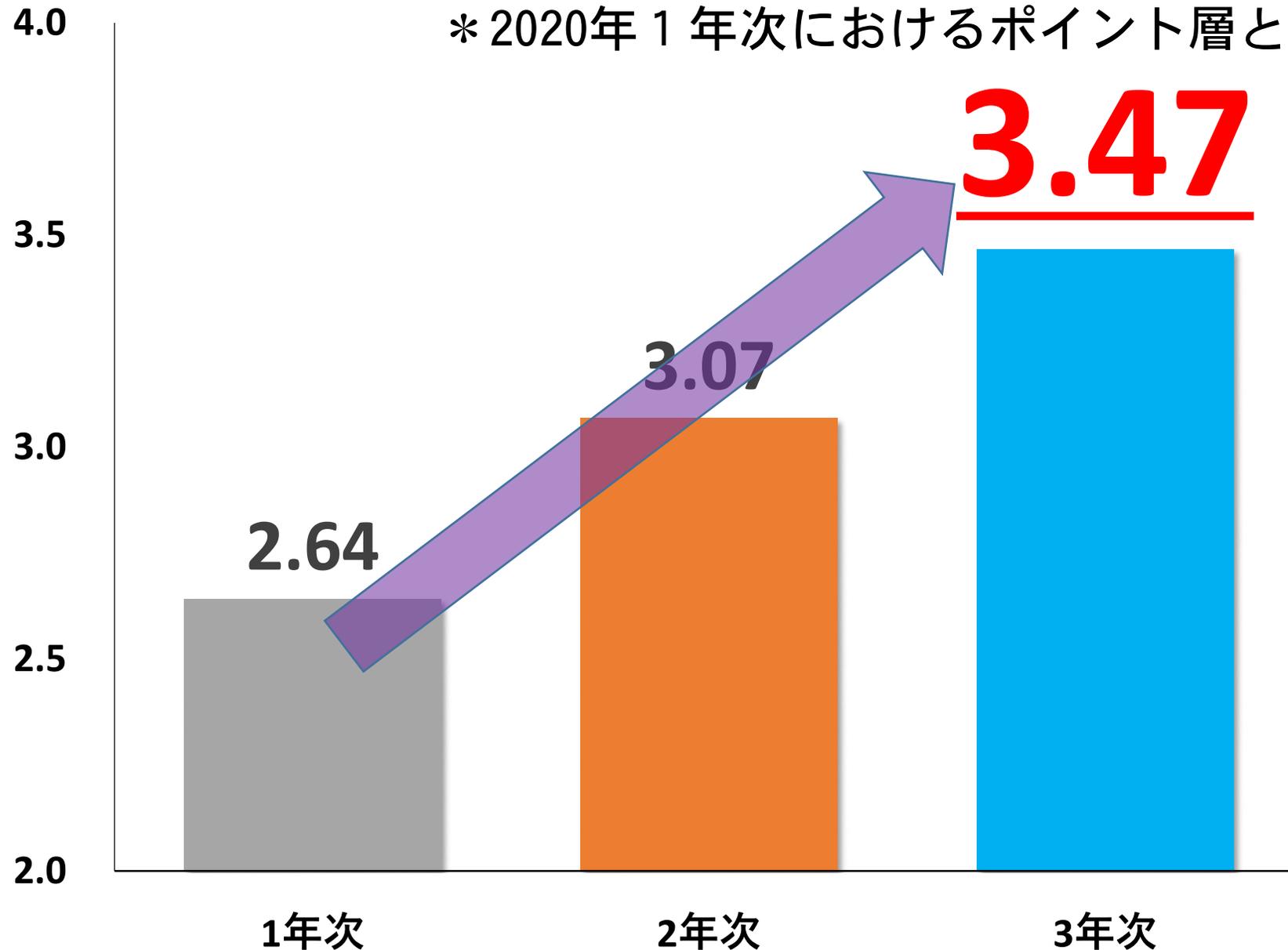
10.2%の
ポイント増



G K H 平均

G K H が 1 ~ 3 ポイントの生徒の推移

* 2020年 1 年次におけるポイント層との比較値



3年間の地域協働活動を通して

33%の
ポイント増



Research and Development LOAD MAP

1年目(2020)「地域理解」

2年目(2021)「課題解決」

3年目(2022)「地域創造」

学校設定科目

・教育課程委員会での検討
・現場視察等での**地域理解**

「地域創生論」の設置
・**地域課題の発見・解決**

「社会起業家実践」の設置
・**地域の未来創造**、モデル構築

グローバル スタディ領域

・GAP(農業生産工程)研修
・グローバル農業講演会

・GAP研修・学習会
・県立大、AIU出前授業

・GAP研修・学習会
・オンライン国際交流学習

第四次産業・ 農業革命領域

・ドローン、パワースーツ研修
・高度木材加工研究所視察

・**ICT,スマート農業実践**
(水田センサ,ドローン等)

・大学等と連携した**スマート
農業実践、研究成果報告**

ソーシャル スキルアップ領域

・長期インターンシップの実施
・関連産業現場視察研修

・長期インターンシップ
・関連産業現場視察

・長期インターンシップ
成果研究発表会の実施

地域一体型 コミュニティ領域

・商品開発や地域連携事業
・食や地域文化の講習会

・商品開発**実用化検証**
・食や地域文化講習会

・新商品の**販売、マーケティング**
・地域文化の**継承・普及**

金農GKH指標 の確立

①金農GKH指標作成・検討
②ループリック評価基準作成

①**GKH指標改善**・運用
②ループリック改善・運用

①**GKH指標確立**・学校比較
②ループリック評価の確立

目標値

KPI

地域課題に意欲的
に取り組む

65 ⇒ 85%

外からの視点で地域を
考える機会

60 ⇒ 80%

関連産業への就職率

40 ⇒ 50%

インターン参加生徒数

8 ⇒ 15人

地域のために役立ちたい

80 ⇒ 90%

現在の生活に対する
豊かさや幸福度

80 ⇒ 90%

目指すべき最終ゴール FINAL GOAL

- 1 農業関連産業を変革することができる（地域マネジメントに貢献できる）人材の育成
- 2 地域の魅力に気づき、地域に定住しながら、地域の関連産業を担う人材の育成

Research and Development LOAD MAP

目標値 (KPI) への達成度

KPIの項目	KPI3年目の 目標シート	高校魅力化 評価	GKH 金農総幸福量
地域課題に意欲的に取り組む	85%	81%(-4%)	86%(+1%)
外からの視点で地域を考える	80%	79%(-1%)	81%(+1%)
地域のために役立ちたい	90%	91%(+1%)	92%(+1%)
現在の豊かさや幸福度	90%	85%(-5%)	98%(+8%)
地域に定住し働きたい	80%	81%(+1%)	83%(+3%)
就職希望者の中で、県内就職を希望し、就職した生徒の割合	95%		94%(-1%)

生徒の変化と教員の変化

生徒：地域に対する価値観の変化(※)

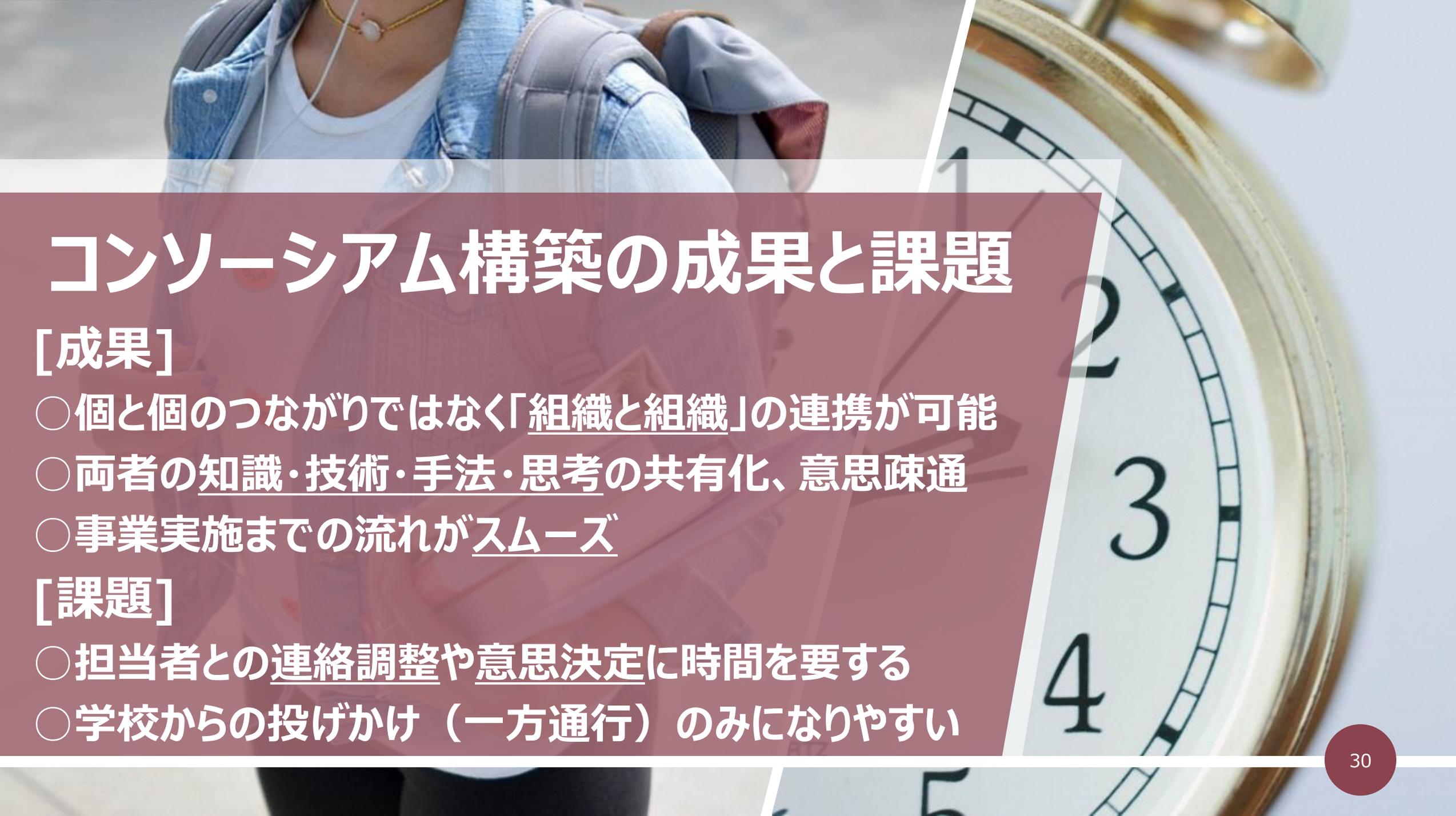
生徒：郷土愛の醸成・再確認

生徒：地域産業への理解（知る）

生徒：自己肯定感や自己の存在意義

教員：地域に対する価値観の変化(※)

教員：地域とともに学ぶ・足下に教材がある
（卒業生の頑張りに刺激を受ける）

A person wearing a blue denim jacket and a white t-shirt with a backpack is visible on the left. On the right, a large, close-up image of a gold alarm clock face is shown, with numbers 1, 2, 3, and 4 visible. The background is a light, neutral color.

コンソーシアム構築の成果と課題

[成果]

- 個と個のつながりではなく「組織と組織」の連携が可能
- 両者の知識・技術・手法・思考の共有化、意思疎通
- 事業実施までの流れがスムーズ

[課題]

- 担当者との連絡調整や意思決定に時間を要する
- 学校からの投げかけ（一方通行）のみになりやすい



今後の展望(予算面)

- ・農業教育高度化事業（農林水産部）
- ・森づくり県民提案事業（農林水産部）
- ・持続可能な地域づくり事業（高校教育課）
- ・建設業若年者理解・定着促進事業
通称 つなぐ化事業（厚生労働省）等々



今後の展望(実施体制)

- ・連携協力協定の持続
(その他の大学や市町村との連携)
- ・コンソーシアムの継続 (新規参入も視野に)
- ・校内の協働体制の維持と分掌の設置
(人事異動による協働体制の低下防止)

ありがとうございました
....



秋田県立金足農業高等学校



018-873-3311



Kanaashinougyokoutougakkou@pref.akita.lg.jp



<http://www.kanano-h.akita-pref.ed.jp/>